



最近の県内経済情勢


令和2年8月4日

財務省関東財務局
前橋財務事務所

問い合わせ先
前橋財務事務所 財務課
電話 027-896-2908(直通)

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる」









項目	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	

（注）2年7月判断は、前回4月判断以降、足下（7月末）の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、感染症の影響が残るものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、感染症の影響がみられるものの、足下では下げ止まりつつある。また、雇用情勢は、感染症の影響により、弱含んでいる。

【各項目の判断】

項目	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、緩やかに持ち直している	
生産活動	一進一退の状況にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で減産の動きが広がっている	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では下げ止まりつつある	
雇用情勢	改善の動きに一服感がみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	
設備投資	元年度は減少見込みとなっている	2年度は増加見込みとなっている	
企業収益	元年度は減益見込みとなっている	2年度は減益見込みとなっている	
企業の景況感	「下降」超となっている	「下降」超となっている	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
公共事業	前年を下回っている	前年を下回っている	

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、緩やかに持ち直している」

乗用車販売は普通車、小型車、軽乗用車いずれも前年を下回っており、コンビニエンスストア販売額も前年を下回っている。百貨店・スーパー販売額、ドラッグストア販売額、家電大型専門店販売額及びホー

ムセンター販売額は前年を上回っており、全体としては、感染症の影響が残るものの、緩やかに持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 緊急事態宣言により、約1か月臨時休業した影響で売上が大きく減少した。(百貨店)
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、休業や時短営業となり、売上が大きく減少した。(スーパー)
- 父の日は家飲み需要により酒類の売上が増加した。(スーパー)
- 観光地での来店客数の落ち込みが大きく全体のマイナス要因となっている。(コンビニエンスストア)
- テレワークや学校休校に伴うオンライン授業推進、巣ごもり生活、特別定額給付金支給の影響により、パソコン、テレビ、ゲーム機、調理家電を中心とした白物家電の売行きが好調に推移した。(家電量販店)
- 4、5月は、感染症の影響により、営業時間の短縮や来店誘致などの営業制限、工場の操業停止による在庫不足により業況は悪かった。(自動車販売)
- 外食の代わりとして、生鮮食品の売上が、巣ごもり生活により、ゲームや玩具、生地や手芸用品なども売上が伸長した。(ショッピングセンター)

■ **生産活動** 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では下げ止まりつつある」

生産活動は、輸送機械を中心に低下しており、感染症の影響がみられるものの、足下では下げ止まりつつある。

- 新型コロナウイルス感染症の影響で4月中旬から5月中旬まで操業を停止し、その後も生産調整を続けていたことから、生産台数は前年同期比を大きく下回っている。6月下旬より通常操業を再開したことで、6月の生産台数は同約5割減まで回復する見込み。(輸送機械)
- 取引先の自動車メーカーの休業に伴い、当社も受注が全体的に減少し、工場稼働率は約8割となっている。(電気機械)

■ **雇用情勢** 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる」

雇用情勢は、新規求人数が減少しているほか、有効求人倍率、新規求人倍率が低下しており、弱含んでいる。

- 新型コロナウイルス感染症の影響で受注が伸び悩んでいることから、6月で契約が切れる派遣社員やパートのうち一部は更新を見送った。(住宅建設)

■ **設備投資** 「2年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」2年4-6月期

- 製造業では前年比27.1%の増加見込み、非製造業では同11.7%の増加見込みとなっており、全規模・全産業では同18.2%の増加見込みとなっている。

■ **企業収益** 「2年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」2年4-6月期

- 製造業では前年比▲37.3%の減益見込み、非製造業では同▲21.8%の減益見込みとなっており、全規模では同▲27.2%の減益見込みとなっている。

■ **企業の景況感** 「『下降』超となっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」2年4-6月期

- 企業の景況判断BSIは、全規模・全産業では前四半期(2年1-3月期)に比べ、「下降」超幅が拡大している。規模別にみると、大企業は「下降」超に転じ、中堅企業、中小企業は「下降」超幅が拡大している。先行きは、全規模・全産業で「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

■ **住宅建設** 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数でみると、分譲住宅は前年を上回っているものの、持家、貸家は前年を下回っていることから、全体では前年を下回っている。

- 展示場の来場者数は、2月下旬以降、集客イベントが開催できず前年同期比で大幅減となっており、今後の成約の大幅な減少を懸念。(住宅建設)

■ **公共事業** 「前年を下回っている」

- 前払金保証請負金額でみると、国は前年を上回っているものの、県、市町村は前年を下回っていることから、全体では前年を下回っている。



最近の県内経済情勢 (資料編)

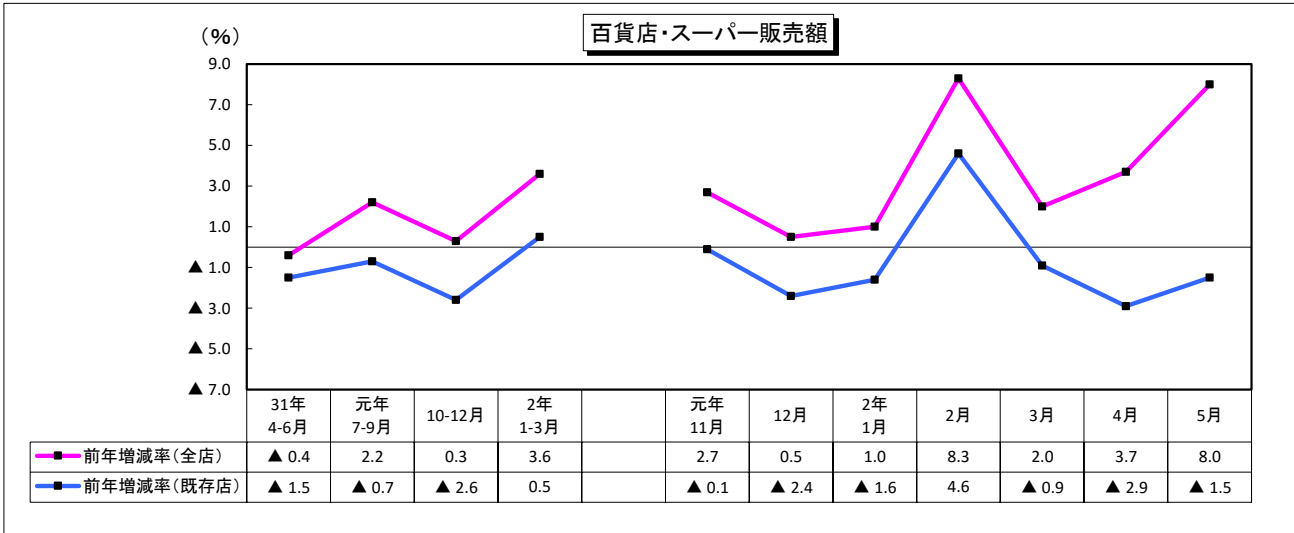
令和2年8月4日

財務省関東財務局
前橋財務事務所

1. 個人消費

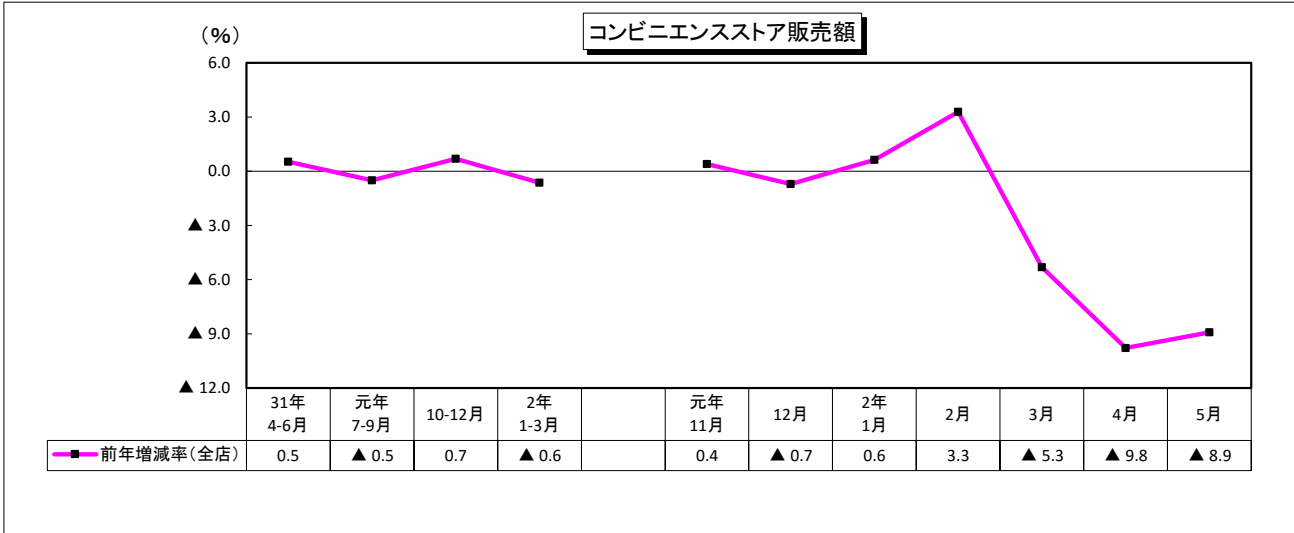
新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、
緩やかに持ち直している

[グラフ1]



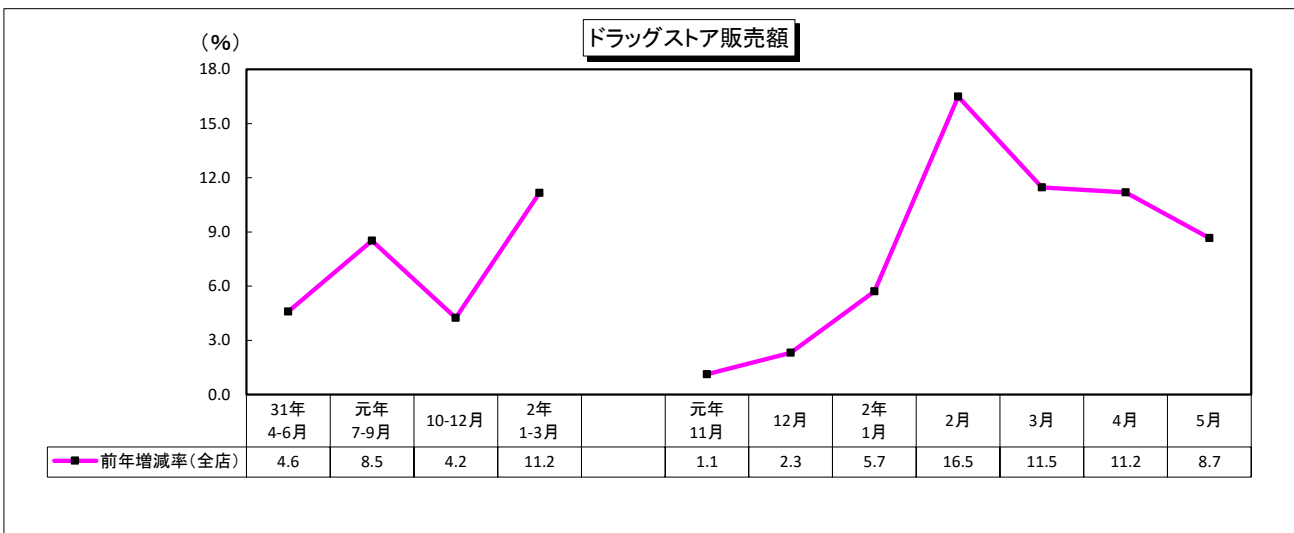
[経済産業省]

[グラフ2]



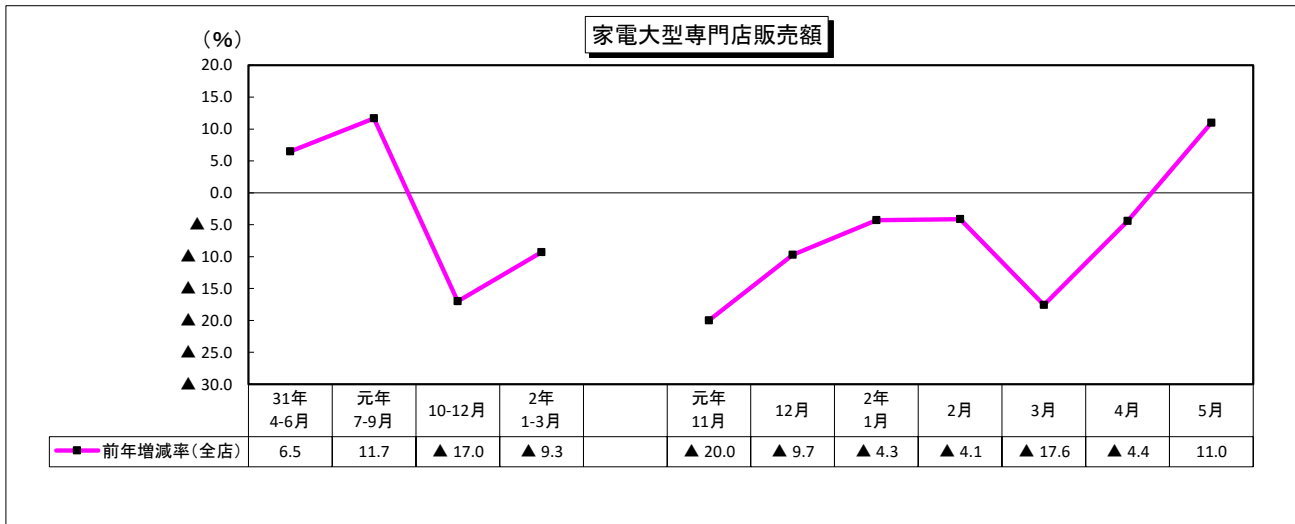
[経済産業省]

[グラフ3]



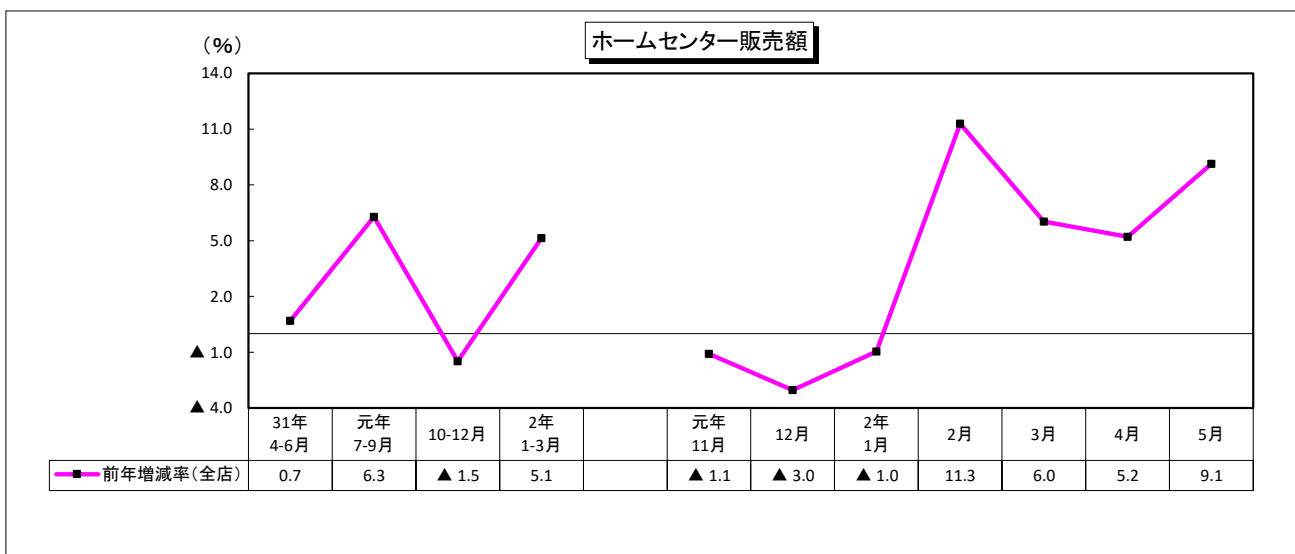
[経済産業省]

[グラフ4]



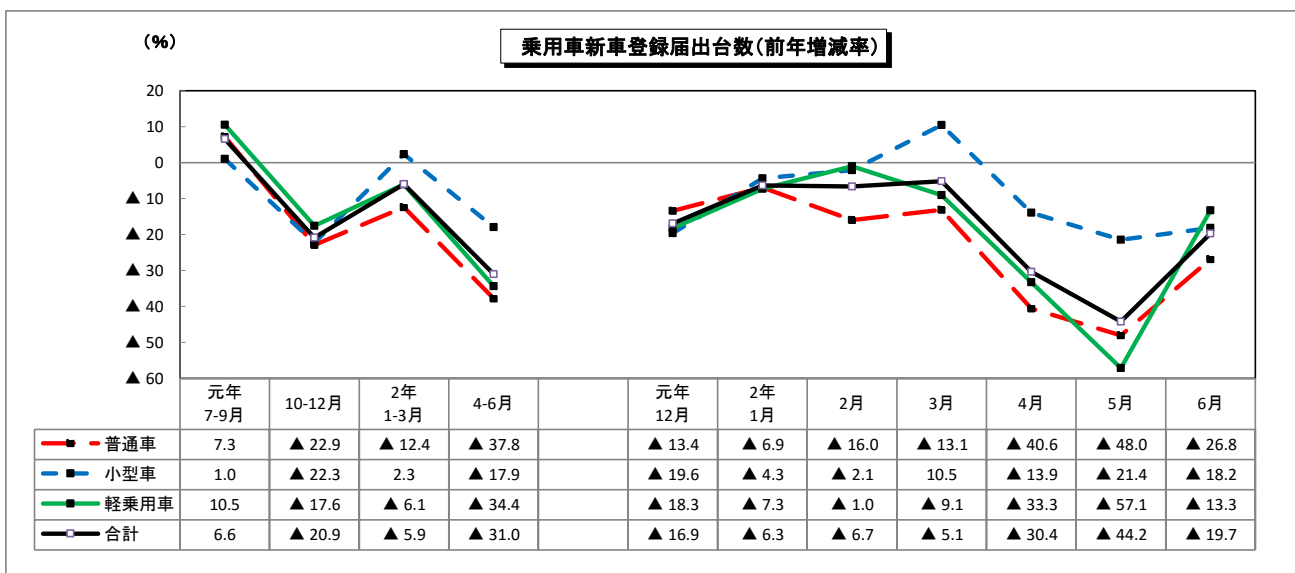
[経済産業省]

[グラフ5]



[経済産業省]

[グラフ6]

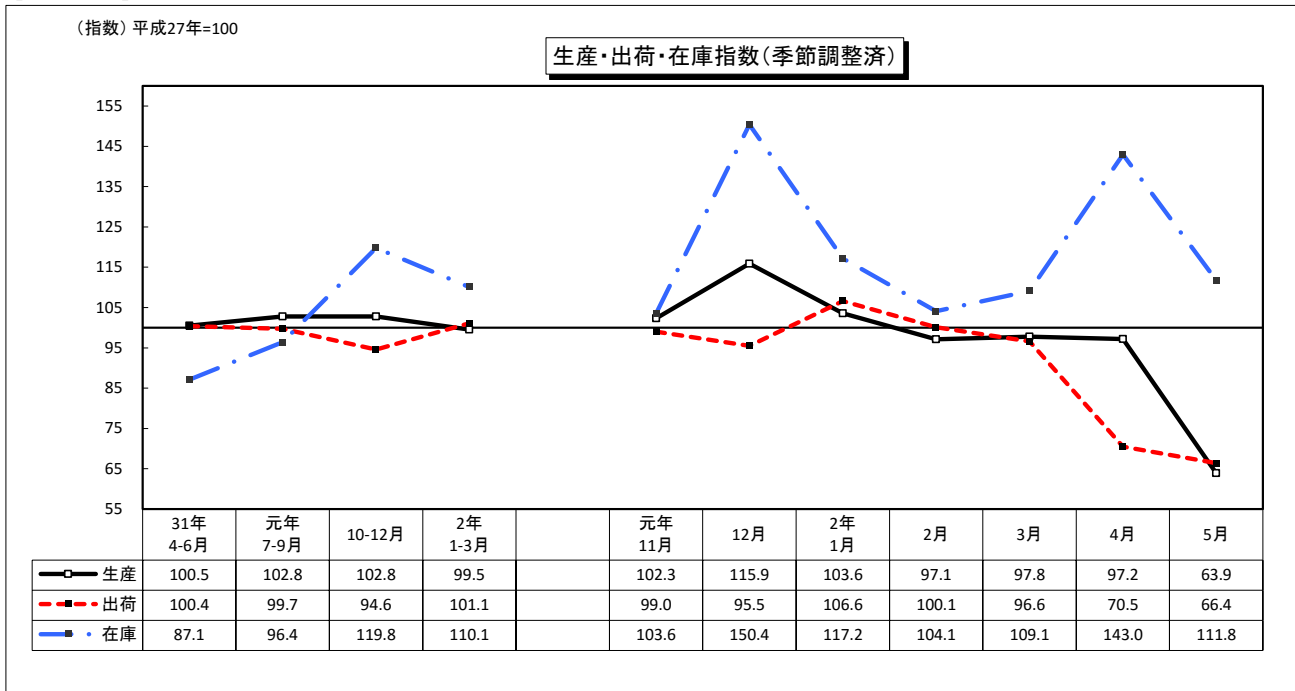


[日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会]

2. 生産活動

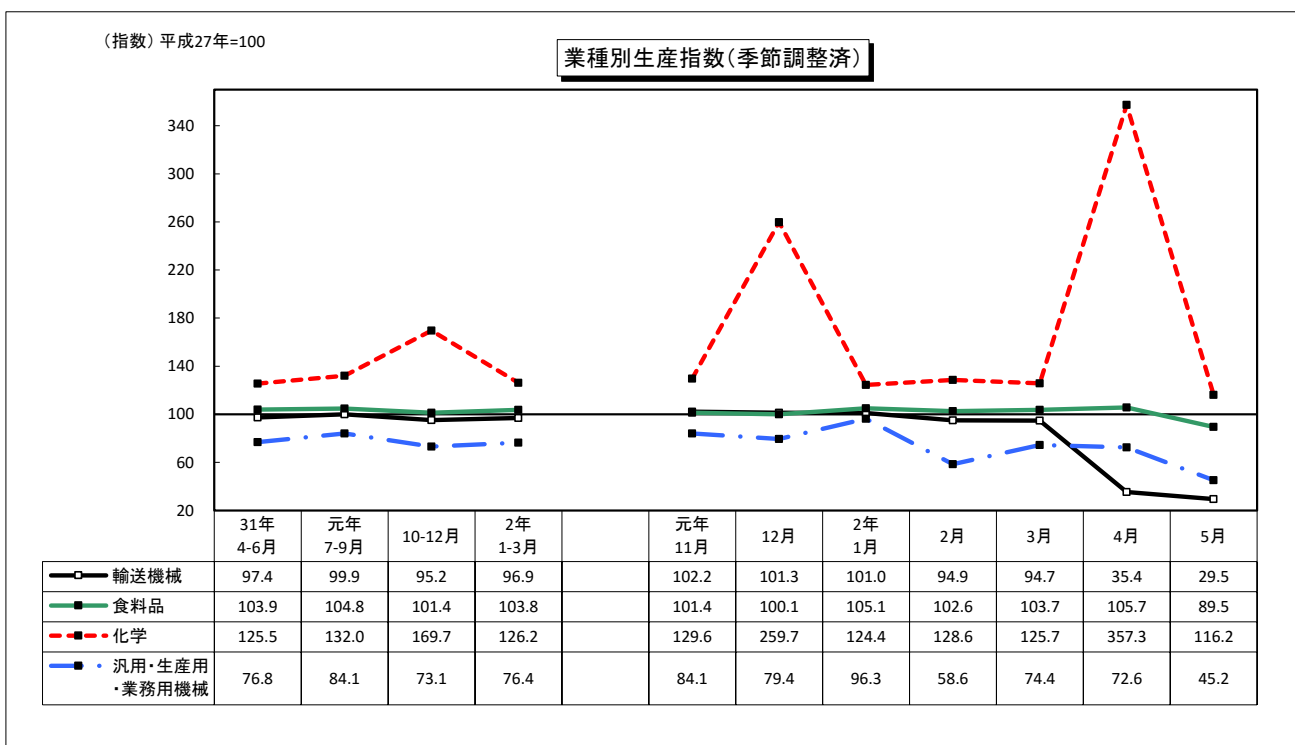
新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、
足下では下げ止まりつつある

[グラフ7]



[群馬県]

[グラフ8]

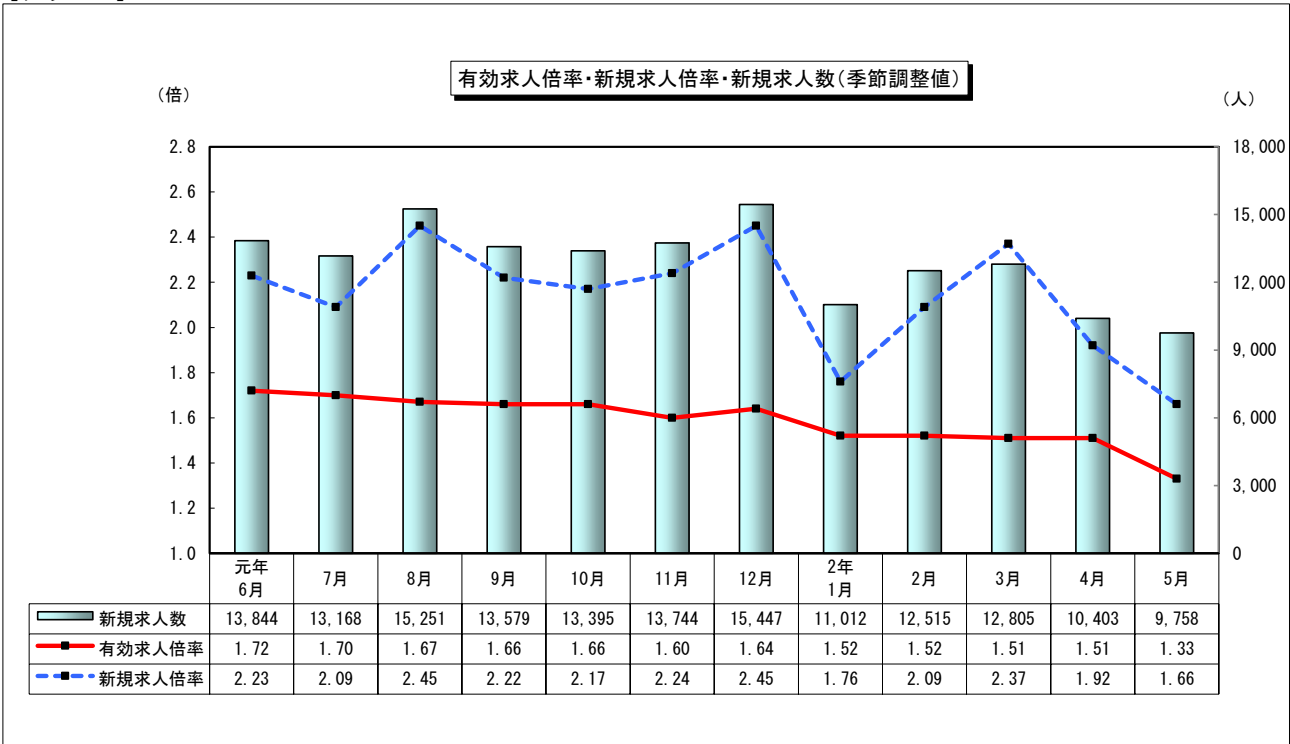


[群馬県]

3. 雇用情勢

新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる

[グラフ9]

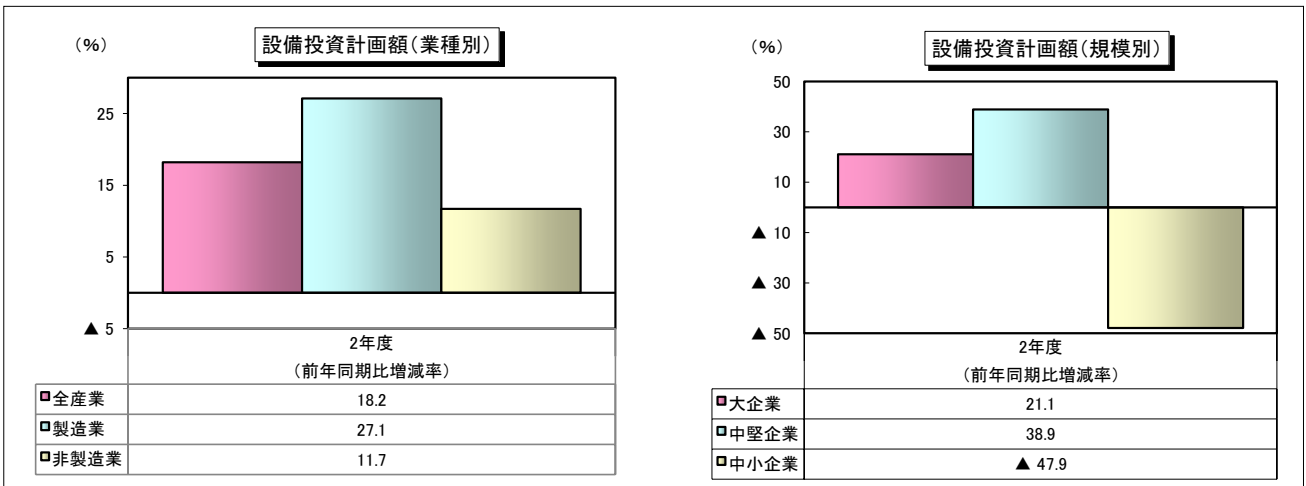


[厚生労働省]

4. 設備投資

2年度は増加見込みとなっている

[グラフ10]

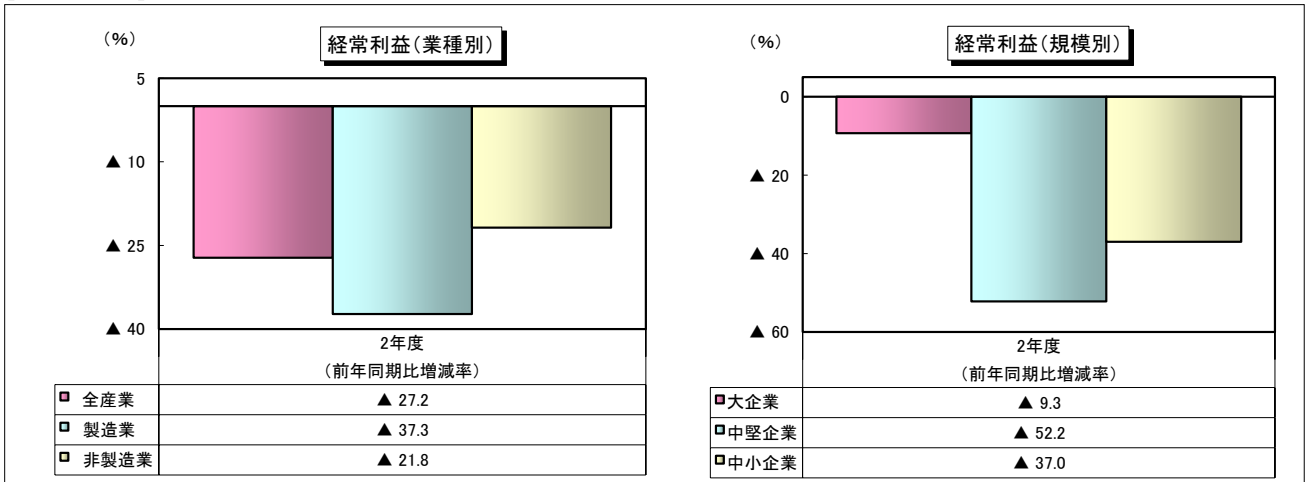


[前橋財務事務所 (法人企業景気予測調査)]

5. 企業収益

2年度は減益見込みとなっている

[グラフ11]

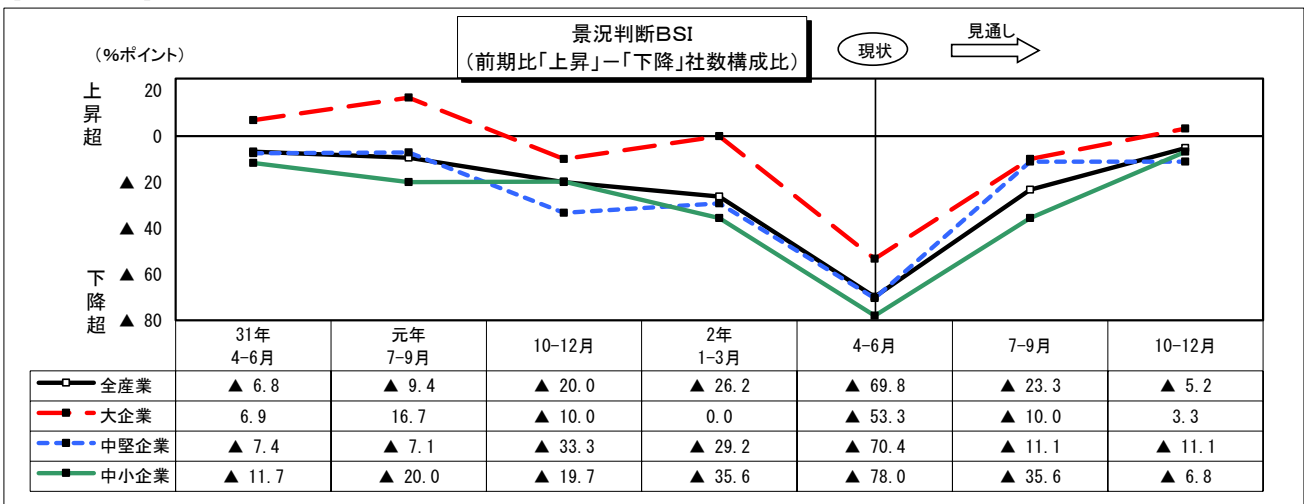


[前橋財務事務所 (法人企業景気予測調査)]

6. 企業の景況感

「下降」超となっている

[グラフ12]

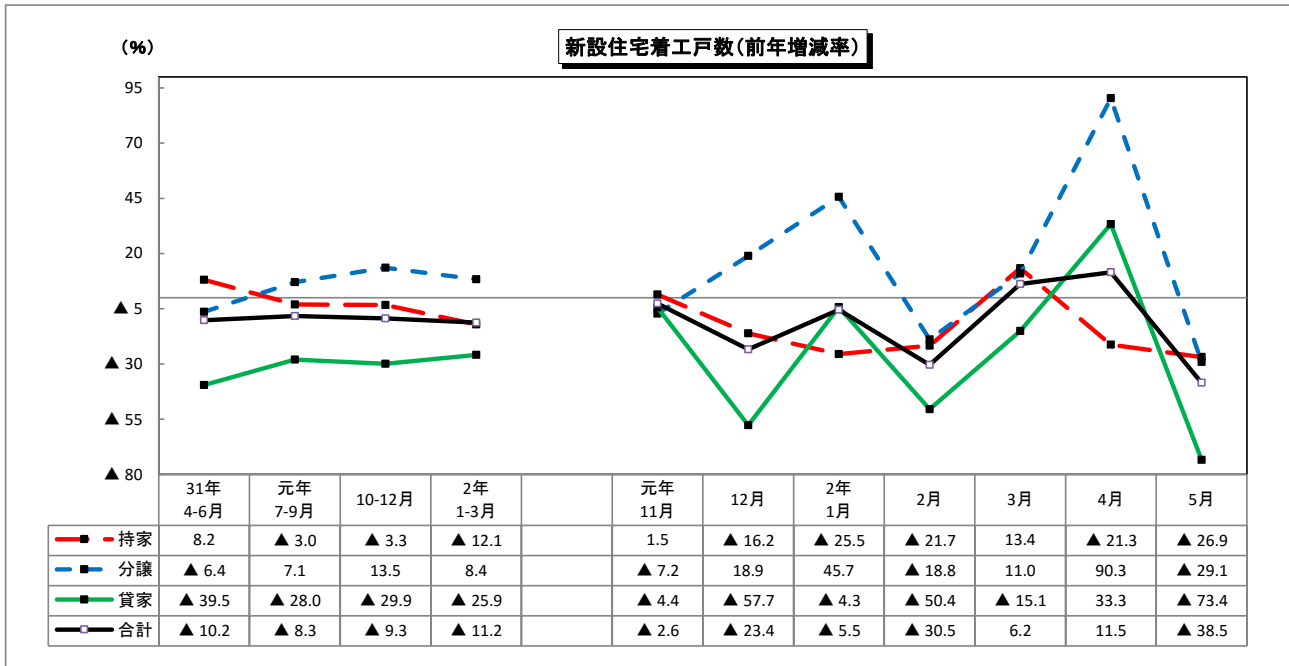


[前橋財務事務所 (法人企業景気予測調査)]

7. 住宅建設

前年を下回っている

[グラフ13]



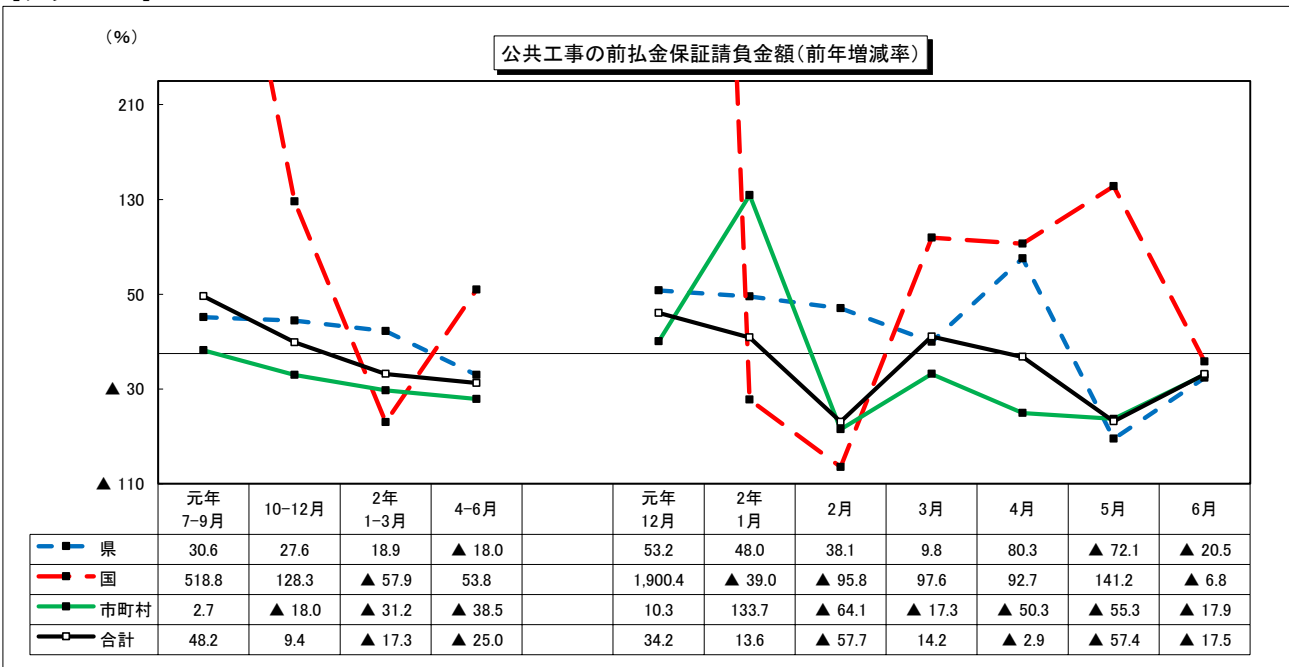
(注) 合計には給与住宅を含んでいる。

[国土交通省]

8. 公共事業

前年を下回っている

[グラフ14]



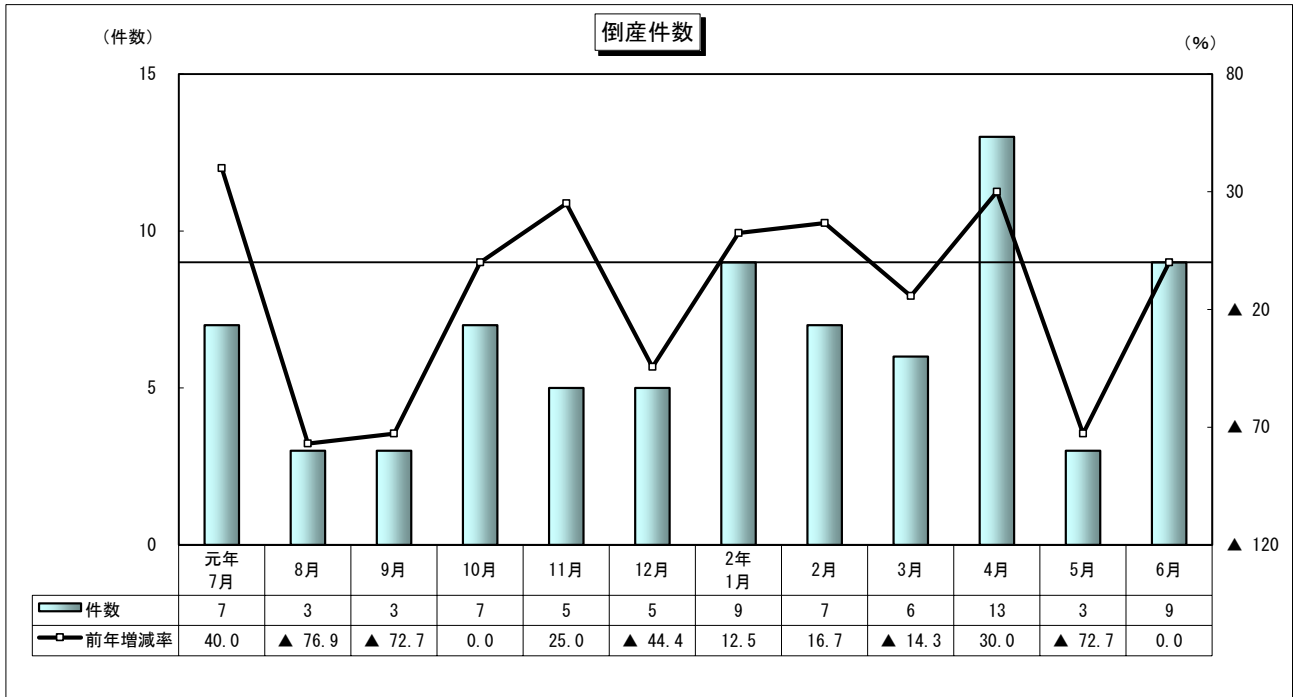
(注) 四捨五入の関係上、各発注者の総和は計に一致しない場合がある。

[東日本建設業保証株式会社ほか]

9. 企業倒産

負債額は前年を上回っている

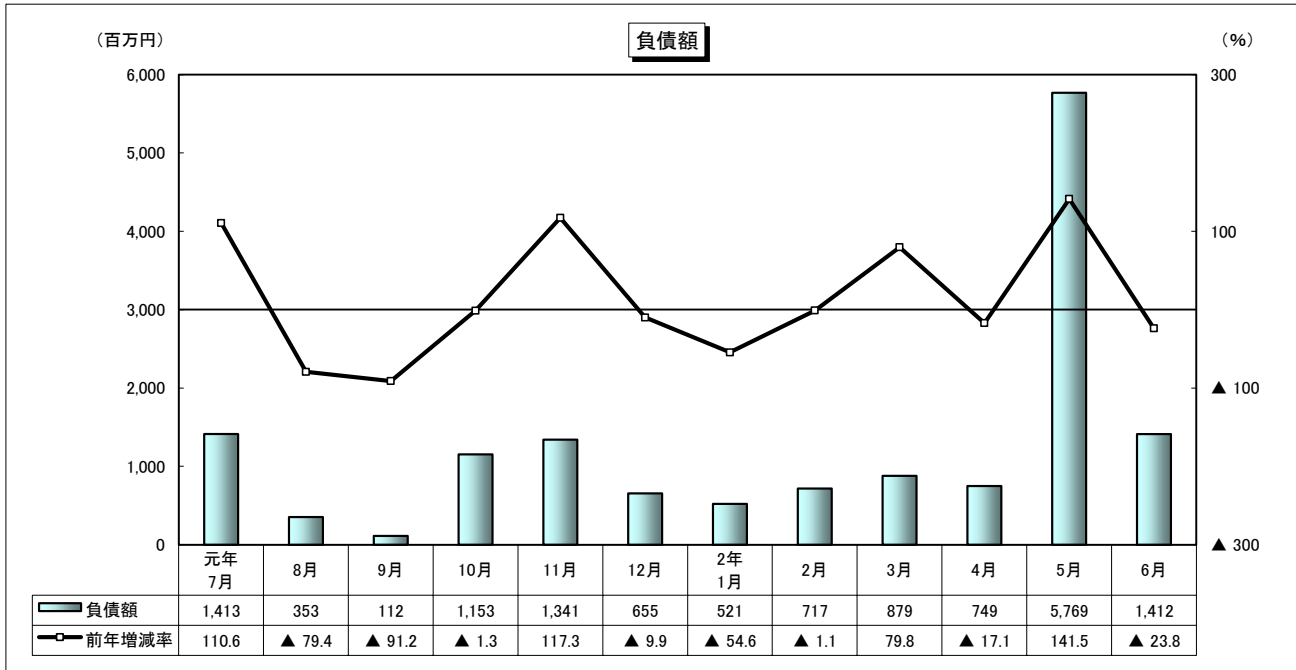
[グラフ15]



(注) 調査対象：負債総額1,000万円以上

[株]東京商工リサーチ前橋支店

[グラフ16]



(注) 調査対象：負債総額1,000万円以上

[株]東京商工リサーチ前橋支店